

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年11月24日(2016.11.24)

【公表番号】特表2015-532350(P2015-532350A)

【公表日】平成27年11月9日(2015.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-069

【出願番号】特願2015-537415(P2015-537415)

【国際特許分類】

C 08 F	20/22	(2006.01)
C 08 L	23/10	(2006.01)
C 08 L	33/16	(2006.01)
C 08 L	55/02	(2006.01)
C 08 L	51/04	(2006.01)
C 08 L	101/00	(2006.01)
C 08 K	3/22	(2006.01)

【F I】

C 08 F	20/22
C 08 L	23/10
C 08 L	33/16
C 08 L	55/02
C 08 L	51/04
C 08 L	101/00
C 08 K	3/22

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月3日(2016.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

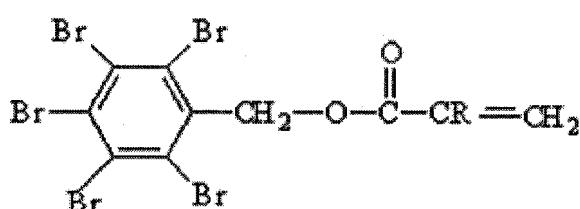
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次式のモノマー

【化1】



[式中、RはHまたはメチルである。]を水混和性非プロトン性溶媒と水との混合物中で、フリーラジカル開始剤の存在下に重合するステップを含む溶液重合方法。

【請求項2】

フリーラジカル開始剤が、水溶性である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

重合が、鎖長調節剤の存在下に実施される、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

モノマーが、ペンタブロモベンジルアクリレート (R = H) である、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

水混和性非プロトン性溶媒が、グリコールエーテルからなる群から選択される、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

鎖長調節剤が、チオール化合物である、請求項 3 から 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

チオールが、R₁SH であり、ここで、R₁ は 8 個以上の炭素原子から構成されるアルキル基である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

高温ゲルバーミエーションクロマトグラフィーによって決定して、重量平均分子量 (M_w) が 4,000 から 120,000 の範囲であり、多分散指数が 1.0 未満であるポリ (ペンタブロモベンジルアクリレート) であって、ガラス転移温度が 150 以下であるポリ (ペンタブロモベンジルアクリレート)。

【請求項 9】

M_w が、4,000 から 90,000 の範囲であり、多分散指数が 2 から 1.0 の間であり、ガラス転移温度が 20 から 150 の間である、請求項 8 に記載のポリ (ペンタブロモベンジルアクリレート)。

【請求項 10】

M_w が、4,000 から 30,000 の範囲であり、ガラス転移温度が 20 から 135 の間である、請求項 9 に記載のポリ (ペンタブロモベンジルアクリレート)。

【請求項 11】

M_w が、30,000 から 90,000 の範囲であり、ガラス転移温度が 135 から 150 の間である、請求項 9 に記載のポリ (ペンタブロモベンジルアクリレート)。

【請求項 12】

鎖長調節剤に由来する末端基を末端とする鎖を含む、請求項 8 から 11 のいずれか一項に記載のポリ (ペンタブロモベンジルアクリレート)。

【請求項 13】

末端基が、チオール基 -SR₁ であり、ここで、R₁ は 8 個以上の炭素原子から構成される直鎖状または分枝状のアルキル基である、請求項 12 に記載のポリ (ペンタブロモベンジルアクリレート)。

【請求項 14】

易燃性材料および難燃剤として請求項 8 から 13 のいずれか一項に記載のポリ (ペンタブロモベンジルアクリレート) を含む配合物。

【請求項 15】

易燃性材料が、ポリプロピレンコポリマーまたは耐衝撃性が改良されたポリプロピレンである、請求項 14 に記載の配合物。

【請求項 16】

易燃性材料が、スチレン含有ポリマーまたはコポリマーを含む、請求項 14 に記載の配合物。

【請求項 17】

易燃性材料が、繊維製品である、請求項 14 に記載の配合物。

【請求項 18】

請求項 8 から 13 のいずれか一項に記載のポリ (ペンタブロモベンジルアクリレート) 、水性担体およびポリマー・バインダーを含み、ならびに湿潤剤、分散剤および増粘剤からなる群から選択される 1 つ以上の添加剤を場合によって含む組成物。

【請求項 19】

繊維製品の易燃性を低減する方法であって、請求項 11 に記載のポリ (ペンタブロモベンジルアクリレート) を、前記繊維製品の表面をパディングまたは被覆することによって

前記纖維製品に適用するステップを含む方法。